令和7年度 公共事業事前評価調書(簡易型)

1. 事業説明シート (区分) **(**国補) • 県単 砂防事業 [火山砂防事業(国補)] 事業箇所 北杜市大泉町谷戸 十二山川(ジュウニヤマカワ) 事業主体 事業名 地区名 山梨県 (1)事業の概要 (3) 事業の妥当性評価 妥当でない ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) ①課題・背景 \bigcirc 本渓流は、八ヶ岳・茅ヶ岳火山地域に位置し、一級河川高川に流下する流域面 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 積1.3km2の渓流であり土砂災害警戒区域に指定されている。当該流域内は、地 質が脆弱で渓床部には不安定土砂が堆積しており、土石流の被害を防止する施設 ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) 0 も未整備であることから、今後の台風や集中豪雨時には土石流による被害の危険 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 性が高まっている。 また、保全対象には人家356戸、JP小海線、第2次緊急輸送道路である(主) 北杜富士見線などが存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす ③経済妥当性 \circ 可能性がある。このため、砂防施設を早急に整備し、土砂災害を未然に防止する 総事業費 800 百万円 R8~R19 基準年 工期 R7 必要がある。 費用 便益 628 百万円 23,160 百万円 経 ②整備目標•効果 建設費 627 百万円 一般資産被害抑止 6,612 百万円 済 維持管理費 1 百万円 人身被害抑止 1,289 百万円 効 □主要目標 ○土石流被害の防止 公共土木被害抑止 963 百万円 率 災害実績 無 その他※ 14,296 百万円 性 • 土砂整備率 0% < 70%未満% B/C 36.9 重要公共施設の有無 有 JR小海線、第2次緊急輸送道路 ※その他は、応急対策、人的被害(精神的損失) ((主) 北杜富士見線) 費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。 (保全対象=人家356戸、鉄道926m、県道1,794m) ※評価基準値 ④事業実施・規模の妥当性 \circ □副次目標 一 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である □副次効果 ○被災時の被害波及の防止(鉄道、緊急輸送道路) ⑤整備手法の有効性 0 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である (2)整備内容 ⑥環境負荷等への配慮 \circ ①整備内容 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する • 砂防堰堤2基 ①H=7.5m、L=119.0m 2H=13.0m, L=143.0m ⑦事業計画の熟度 \circ **③完成見込年度** 令和19年度 ②着手年度 令和8年度 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている ④総事業費 約800百万円 ⑤年度別の整備内容 (事業費) 測量、詳細設計、地質調査 総合評価 令和8年度 40 百万円 [貢献度ランク:a] (4) 事業位置図等 令和9年度 用地測量調查、用地取得•補償 60 百万円 令和10∼ 砂防堰堤工事 700 百万円 +二山川 19年度 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 Sg古杣川橋 Sg**甲六川橋** L=30.1 W=7.0 (主)北杜富士見線 八ヶ岳横断道路(八ヶ岳公園) ⑥既整備内容·期間·事業費 ・治山堰堤 3基、H11∼12 -1号溝橋 第4小荒間踏切

2.添付資料シート 【流域概要図】 【凡例】 計画砂防堰堤 流域境界 既設治山堰堤 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 計画基準点 ②計画基準点付近の状況 ①荒廃状況(土砂堆積) H=13. Om, L=143. Om 第2次緊急輸送道路 ((主)北杜富士見線) 写真① H=7.5m, L=119.0m 至 小淵沢IC 写真② ③保全対象全景 側面図(上流堰堤) 正面図(上流堰堤) 143. Om 13. 0m 4. C JR小海絲 側面図(下流堰堤) 甲斐小泉駅 正面図(下流堰堤) 12. 5m 119. Om 美術館 7.5m 6.2m 13.7m 7. 5m 1km 写真③